



2021年1月14日

各 位

会 社 名 株式会社 Gunosy  
代 表 者 名 代表取締役社長 竹谷 祐哉  
(コード番号：6047 東証第一部)  
問 合 せ 先 取締役 間庭 裕喜  
最高財務責任者  
( TEL. 03-6455-4560)

2021年5月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異  
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年10月15日に公表した2021年5月期第2四半期累計期間(2020年6月1日～2020年11月30日)の連結業績予想及び個別業績予想と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2021年5月期通期(2020年6月1日～2021年5月31日)の連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年5月期第2四半期業績予想と実績値の差異(2020年6月1日～2020年11月30日)

連結業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年10月15日)	百万円 4,652 ～4,937	百万円 242 ～394	百万円 232 ～384	百万円 123 ～228	円 銭 5.24 ～9.74
今回実績値(B)	4,291	376	369	233	9.95
増減額(B-A)	△361 ～△645	134 ～△17	136 ～△15	110 ～4	
増減率(%)	△7.8 ～△13.1	55.5 ～△4.5	58.9 ～△3.9	89.7 ～2.2	
(ご参考)前期実績 (2020年5月期第2四半期)	7,585	156	131	127	5.42

個別業績予想と実績値の差異

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年7月14日)	百万円 3,612 ~3,896	百万円 129 ~266	百万円 89 ~184	円 銭 3.83 ~7.89
今回実績値 (B)	3,149	88	96	4.10
増減額 (B-A)	△463 ~△747	△40 ~△178	6 ~△88	
増減率 (%)	△12.8 ~△19.2	△31.7 ~△66.8	7.3 ~△47.9	
(ご参考) 前期実績 (2020年5月期第2四半期)	6,946	172	164	6.97

2. 2021年5月期通期業績予想数値の修正 (2020年6月1日~2021年5月31日)

連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年10月15日)	百万円 10,297 ~11,297	百万円 1,030 ~1,414	百万円 1,011 ~1,395	百万円 615 ~882	円 銭 26.22 ~37.55
今回修正予想 (B)	8,897	500	482	253	10.78
増減額 (B-A)	△1,400 ~△2,399	△529 ~△913	△528 ~△912	△362 ~△628	
増減率 (%)	△13.6 ~△21.2	△51.4 ~△64.6	△52.2 ~△65.4	△58.9 ~△71.3	
(ご参考) 前期実績 (2020年5月期)	13,987	859	838	386	16.44

個別業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年7月14日)	百万円 8,017 ～9,017	百万円 671 ～1,025	百万円 466 ～711	円 銭 19.89 ～30.36
今回修正予想 (B)	6,613	18	54	2.33
増減額 (B-A)	△1,404 ～△2,403	△653 ～△1,007	△411 ～△656	
増減率 (%)	△17.5 ～△26.7	△97.3 ～△98.2	△88.3 ～△92.3	
(ご参考) 前期実績 (2020年5月期)	12,398	759	178	7.59

2. 差異が生じた理由及び業績予想修正の理由

2021年5月期第2四半期累計期間における当社グループの連結及び個別業績については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う景況感の悪化、及びインターネット広告の透明性と信頼性の向上を目的とした広告ガイドラインの刷新の影響が継続する中において、アルゴリズム改善による収益性向上施策等が計画通り進捗し、Gunosy Adsの売上高が堅調に推移したほか、子会社である株式会社ゲームエイトの業績の好調を受け、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については業績予想レンジの上限近辺における着地となりました。一方で、アドネットワークに係る売上高については、広告主数の減少等の影響が当初の想定よりも厳しく推移したことから、連結及び個別の売上高については、業績予想レンジの下限を下回る着地となりました。

2021年5月期下期においては、アドネットワークに関しては、引き続き厳しい事業環境が見込まれ、当初の計画を下回る推移となる見込みですが、引き続き「グノシー」を中心に収益性改善施策の進捗を見込むほか、KDDI株式会社の運営する大型メディアアプリサービスに関する新規協業契約の締結による業績改善を予定しております。また、「グノシー」における収益性改善施策が順調に進捗したことを踏まえ、広告宣伝費の金額を当初の計画よりも約1.7億円増額することを決定したほか、afterコロナでも生産的に働ける環境の整備及びオフィス関係費用の最適化を目的とし、2020年12月16日に本社機能の移転を決議いたしました。本社機能の移転により、中長期的に大幅なコスト削減が実現できる見込みですが、当期においては、現オフィスの固定資産の耐用年数の短縮等の影響により、合計で252百万円の売上原価・販売費及び一般管理費を当初予想より追加で計上する予定です。加えて、本社移転後においても、現オフィスの解約期間までの間に二重の賃借料が発生することから、2021年5月期において35百万円、2022年5月期において214百万円の営業外費用（遊休資産諸費用）を計上する見込みです。これらに伴い、前回予想を下回る見込みとなりましたので、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

詳細については、本日公表の「2021年5月期 第2四半期決算説明資料」も併せてご覧ください。

(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 上記の業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上